

神奈川作業療法研究

The Journal of Kanagawa Occupational Therapy Research

投稿・執筆規定 Ver.6 (2019. 2. 28.付)

◇ 本誌の目的

本誌は、一般社団法人神奈川県作業療法士の学術誌として、以下を目的として掲げております。

1. 神奈川県作業療法士の発展に寄与する研究・実践についての知見を会員間で広く共有すること
2. 成果の公表により神奈川県作業療法士の学術研究活動を内外へ広報すること
3. 神奈川県作業療法士会およびその会員の学術レベルの向上を図ること

作業療法の各領域に関する論文のご投稿をお待ちしております。なお、国内外を問わず他の媒体（雑誌・インターネット等）に掲載されたもの、掲載予定のもの、投稿中のものはご遠慮ください。

◇ 投稿資格

筆頭著者は、神奈川県作業療法士会正会員であり、応募年度までの会費納入を済ませた作業療法士に限り、共著者は本会会員でなくても構いませんが、作業療法士である場合は、社団法人日本作業療法士協会に入会し、かつ本会もしくは他都道府県作業療法士会において、応募年度までの会費納入を済ませていることを条件とします。

また、編集委員会の決定により会員外の著者に投稿を依頼することができるものとします。

◇ 論文の採否

論文は、2名の査読者によって査読し、論文の採否は、編集委員会にて決定致します。審査の結果により、原稿の加筆、修正をお願いすることがあります。また編集委員会の責任において多少の字句の訂正を行うことがあります。掲載不可となりました論文は速やかにご返却致します。

◇ 論文の内容（投稿区分）

募集論文は、「作業療法研究」、「症例報告」、「総説」、「短報」、「実践ノート」とします。

1. 作業療法研究：作業療法における実験、調査、理論研究などから得られた独創的で新規性の高い知見を含む結果、考察より結論が明確なもの。
2. 症例報告：特色ある作業療法実践に焦点を当てた丁寧な臨床経過の報告等。
3. 総説：作業療法に関連するテーマについて、過去の研究を概観し、将来的展望を視野においた組織的な論評および総括を目的とする論文。
4. 短報：新規性が高く見解の速やかな発表を期待するパイロット的研究報告、後に詳しい研究論文として書くことが期待される論文。

5. 実践ノート：治療手段としての活動、装具、自助具、遊具などのアイデアの紹介、各施設や研修会等での活動報告、実習指導や教育についての報告、学会参加報告、研究のヒントなど、県士会の学術や臨床活動に寄与するもの。

◇ 原稿の枚数

執筆枚数は下記の通りとし、原稿枚数は文献を含みます。

作業療法研究：12,000字（800字×15枚）以内

症例報告：9,600字（800字×12枚）以内

総説：作業療法研究に準じる

短報：6,400字（800字×8枚）以内

実践ノート：3,200字（800字×4枚）以内

図表は1点につき400字（原稿半ページ分）に換算して、上記の枚数に含めてください。なお、表紙や要旨は枚数には含まれません。規定枚数を超える原稿はご返却致します。なお、「短報」の図・表はそれぞれ1点までとします。「実践ノート」の図・表はいずれか1点とします。

◇ 執筆要領

1. 投稿申請書

神奈川県作業療法士会ホームページより「投稿原稿チェックリスト」、「投稿論文表紙」、「投稿および著作権譲渡承諾書」をダウンロードのうえ、必要事項を記入し原稿に添付し、提出してください。なお、筆頭著者、共著者の署名は自筆とし、署名日を必ず記入してください。

2. 原稿の体裁

すべてA4判横書き（用紙の向きは縦）、40字×20行を1枚とし、見やすく書式設定してください。表紙、要旨、本文、文献の順に、本文から最下段に通しナンバー（ページ数）を入れてください（表紙、要旨にはナンバーは付けない）。

1) 原稿表紙

原稿の表紙として「投稿論文表紙」を使用してください。

- ①投稿区分（作業療法研究、症例報告等）、②論文題名（和文・英文）、③キーワード（和文で3語、実践ノートは不要）、④著者名（最多で5名まで）

論文題名、著者名、所属名には必ず英文表記を付けるとともに、著者名にはそれぞれ職種（例：作業療法士、理学療法士、言語聴覚士、医師等）を入れてください。

2) 論文要旨（実践ノートは不要）

原稿の2枚目に400字以内で和文の要旨および100～250ワードの英文要旨を付けてください。要旨はこれのみで論文全体の内容がわかるように、背景、対象、方法、結果、考察の形式でまとめてください。英文要旨は、著者の責任において適切な英文原稿を提出してください。なお、編集委員会にて英語を母国語とする人に英文の点検を依頼し、英文を変更させていただくことがあります。

3) 本文

本文は原則として、はじめに、方法、結果、考察、おわりに/結語、文献等の見出しを付けて構成してください。質的研究の場合、必要に応じて見出しを付け構成してください。

文章表現は以下の点に留意してください。

- ①日本語：口語体、現代かなづかいとし、明快に記述してください。
- ②専門用語：リハビリテーションの専門用語および作業療法各専門領域の用語は、用語集や辞典等に則って表記してください。できるだけ訳語を用い、必要に応じてカッコ内に原語を入れてください。
- ③単位：数字は算用数字、数量は国際単位系（SI単位：m, cm, mm, ml, kg, cm²等）記号を使用してください。
- ④外国名（人名・地名等）：人名は原則として原語（例：Slagle, EC等）を用い、外国の国名、地名などで一般的なものは片仮名表記（例：カナダ等）で構いません。

3. 図・表について

図・表はすべて表題を付け、図には説明文を表題の下に付けるようにします。本文とは別にまとめ、本文中に図・表の挿入場所を明示してください。また、図・表は白黒で印刷されるので、白黒でも区別できるように、図は鮮明でそのまま製版できるものを準備してください。

引用や転載の図・表は、それぞれの出典を表題の下に明記してください。他の著作物からの転載や改変については、原出版社、原著者からの許諾が必要です。著者の責任において投稿前に必ず許諾を得て、書類の控えを同封してください。

◇ 文献の書き方

文献リストは引用文献のみとし、引用順に配列してください。著者名は、5名までを記載し、6名以上は“他”、“et al.”としてください。表記の形式は以下の例にならってください。

1. 単行本

1) 単独あるいは共同執筆の場合

例) 千野直一：臨床筋電図・電気診断学入門。医学書院，1997，pp102-104

2) 分担執筆の場合

例) 佐伯覚：理学療法概説。蜂須賀研二（編）；服部リハビリテーション技術全書，第3版，医学書院，2014，pp96-107

2. 雑誌

例) 横須賀太郎，横浜花子，三浦賢治：回復期病棟における筋力増強の効果。作業療法科学20(5)：465-471，2001。

例) Iannotti JP, Deutsch A, Green A, Rudicel S, Christensen J, et al: Time to failure after rotator cuff repair: a prospective imaging study. J Bone Joint Surg Am 95: 965-971, 2013.

3. インターネット

例) 日本作業療法士協会：学術誌「作業療法」論文投稿に関する倫理指針。(http://www.jaot.or.jp/publication/gakujutsushi_rinri.html) (参照2018-06-18)

◇ 倫理規定について

論文執筆にあたっては、倫理的側面に十分配慮し、所属施設の研究倫理委員会ないしはそれに準ずる機関の承認

を得たうえで、論文にその旨を記載してください。症例報告については、必要に応じて同意書を添付してください。なお、本誌の編集作業は、医学雑誌編集者国際委員会（ICMJE）による『学雑誌掲載のための学術研究の実施報告、編集、および出版に関する勧告』（2017年12月改訂版）に準拠し実施しております。

◇ 利益相反（COI）について

投稿される論文の内容に関して利益相反の有無を明示してください。研究の一部あるいは全部が公的ないし私的機関の支援を受けている場合、その旨を掲載論文の末尾に明記してください。（例：利益相反あり。本研究に関する費用は〔団体名・企業名〕から得た。）利益相反の可能性がある項目については編集委員会までご相談ください。

◇ 二重投稿について

すでに発表済みあるいは投稿中の内容と同等の論文を本誌に投稿することは二重投稿となり、「研究者の倫理に反する行為」とみなされます。

◇ 著作権について

本誌に掲載される論文（写真・図・表も含む）の国内外の一切の著作権は、一般社団法人神奈川作業療法士会に属します。著作者ご自身のこれらの権利を拘束するものではありませんが、再利用する場合には編集委員会までご一報ください。なお、機関リポジトリへの登録は掲載後発行1年後から出版社版（PDF）の公開を認めることとします。

◇ 原稿送付時の留意点と校正

「投稿原稿チェックリスト」、「投稿論文表紙」、「投稿および著作財産権譲渡承諾書」および投稿原稿を同封し、下記編集委員会まで郵送してください。投稿原稿の提出書類が確認でき次第、編集委員会より査読用原稿の作成依頼を致します。その際、ワードで作成した原稿（図表を含む）を電子メールにて編集委員会宛に送付してください。

受理原稿の印刷校正は、筆頭著者の責任で1回のみとし、指定の期限内にご返送ください。なお、掲載後の原稿は返却致しません。

◇ 原稿送り先

〒231-0011 神奈川県横浜市中区太田町4-45
第一国際ビル 301号室
神奈川県作業療法士会事務局内
「神奈川作業療法研究」編集委員会

◇ 別冊進呈

各論文の筆頭著者に別冊30部を進呈致します。

◇ 論文執筆支援制度

会員の本誌への投稿を援助する目的で、「論文執筆支援制度」を設けております。本制度を希望する方は、神奈川県作業療法士会ホームページより申請用紙をダウンロードし、編集委員会にお申し込みください。

* ご不明な点がございましたら、編集委員会までお問い合わせください（E-mail: kana-otkenkyu@kana-ot.jp）。

* 倫理規程、利益相反、二重投稿などに抵触するかどうかの判断に迷う場合は、編集委員会にて判断致します。関連する書類、論文をすべて初回投稿時に提出してください。

「神奈川作業療法研究」投稿原稿チェックリスト

『神奈川作業療法研究』編集委員会（2019. 02. 28.）

下記リストの項目にチェック☑をしてください。チェックのないものは投稿を受け付けません。

| 論文題名 | |
|---|---|
| 投稿区分 | 作業療法研究 ・ 症例報告 ・ 総説 ・ 短報 ・ 実践ノート（いずれかに○） |
| 投 稿 チ ェ ッ ク リ ス ト | |
| 1. 論文は、本誌の投稿・執筆規定の内容に沿っていますか？ | 1. 適 ・ 不適 |
| 2. 原稿は、40字×20行（800字）になっていますか？ | 2. 適 ・ 不適 |
| 3. 各ページの最下段にページ番号は入っていますか？ | 3. 適 ・ 不適 |
| 4. 論文の投稿区分（作業療法研究・症例報告・総説・短報・実践ノート）は適切ですか？ | 4. 適 ・ 不適 |
| 5. 論文の長さ、図表の数は投稿区分に対して適切ですか？ | 5. 適 ・ 不適 |
| 6. 著者の人数（共著者は4名まで）は適切ですか？ | 6. 適 ・ 不適 |
| 7. キーワード（3つ）は適切に作成されていますか？（□「実践ノート」のためなし） | 7. 適 ・ 不適 |
| 8. 投稿規定に沿った和文・英文要旨はついていますか？（□「実践ノート」のためなし） | 8. 適 ・ 不適 |
| 9. 論文の内容に独自性や有用性がありますか？ | 9. 適 ・ 不適 |
| 10. 本文に研究目的は明確に示されていますか？ | 10. 適 ・ 不適 |
| 11. 本文の方法は適切ですか？ | 11. 適 ・ 不適 |
| 12. 倫理上の問題（利益相反、二重投稿等）はありませんか？ | 12. 適 ・ 不適 |
| 13. 倫理審査を得ている場合は、承認番号、承認年月日が記載されていますか？ （□「症例報告」「実践ノート」のためなし） | 13. 適 ・ 不適 |
| 14. 文章上の表現や用語の用い方は適切ですか？ | 14. 適 ・ 不適 |
| 15. 図表は本文と照合して適切ですか？ | 15. 適 ・ 不適 |
| 16. 図表の体裁（タイトル、単位、形式等）は適切ですか？ | 16. 適 ・ 不適 |
| 17. 本文と図表は分けて作成されていますか？ | 17. 適 ・ 不適 |
| 18. 引用文献は適切に選定されていますか？ | 18. 適 ・ 不適 |
| 19. 文献リストは投稿・執筆規定に従って書かれていますか？ （□「論文執筆支援制度」を利用している場合はこちらにチェック） | 19. 適 ・ 不適 |
| 20. 利益相反（COI）として開示する内容がありますか？ □あり □なし | 20. 適 ・ 不適 |
| 21. 「投稿論文表紙」には全著者の氏名、職種等の記載はありますか？ | 21. 適 ・ 不適 |
| 22. 作業療法士の共著者は、日本作業療法士協会、都道府県作業療法士会の今年度会費を納めていますか？ | 22. 適 ・ 不適 |

研究者の良心に従い上記内容に相違ないことを、ここに宣誓いたします。

氏名（自著） 年 月 日

（会員番号： _____）

編集委員会 記入欄

| | | | | |
|-------|-------------------------|--------|-----------------|-----|
| 受付日 | 年 月 日 | 投稿チェック | 1. 査読可 | 確認印 |
| 受付No. | | | 2. 修正後、再投稿 | |
| 投稿区分 | 研究・症例報告・総説・ 短報・実践ノート | | 3. 不可 | |
| | | | 4. その他（ _____ ） | |

「神奈川作業療法研究」投稿論文表紙

『神奈川作業療法研究』編集委員会（2019.02.28.）

投稿区分（いずれかに○）：1. 作業療法研究 2. 症例報告 3. 総説 4. 短報 5. 実践ノート

論文題名（和文）_____

論文題名（英文）_____

キーワード（和文）1. _____ 2. _____ 3. _____

筆頭著者

| | | | |
|---------|--|---------|----------------------------------|
| 氏名（日本語） | | 氏名（英語） | |
| 会員番号 | | 職種（日本語） | |
| 所属（日本語） | | 学 位 | ●博士、●修士（●MS・●MA） ●学士、●（高度）専門士 |
| 所属（英語） | | | |
| 電 話 | | FAX | |
| E-mail | | | |

1. 共著者

| | | | |
|---------|--|---------|----------------------------------|
| 氏名（日本語） | | 氏名（英語） | |
| 会員番号 | | 職種（日本語） | |
| 所属（日本語） | | 学 位 | ●博士、●修士（●MS・●MA） ●学士、●（高度）専門士 |
| 所属（英語） | | | |

2. 共著者

| | | | |
|---------|--|---------|----------------------------------|
| 氏名（日本語） | | 氏名（英語） | |
| 会員番号 | | 職種（日本語） | |
| 所属（日本語） | | 学 位 | ●博士、●修士（●MS・●MA） ●学士、●（高度）専門士 |
| 所属（英語） | | | |

3. 共著者

| | | | |
|----------|--|----------|--|
| 氏名 (日本語) | | 氏名 (英 語) | |
| 会員番号 | | 職種 (日本語) | |
| 所属 (日本語) | | 学 位 | <ul style="list-style-type: none"> ●博士、●修士 (●MS・●MA) ●学士、●(高度) 専門士 |
| 所属 (英 語) | | | |

4. 共著者

| | | | |
|----------|--|----------|--|
| 氏名 (日本語) | | 氏名 (英 語) | |
| 会員番号 | | 職種 (日本語) | |
| 所属 (日本語) | | 学 位 | <ul style="list-style-type: none"> ●博士、●修士 (●MS・●MA) ●学士、●(高度) 専門士 |
| 所属 (英 語) | | | |

神奈川作業療法研究

論文執筆支援制度 申請書

神奈川作業療法研究
編集委員長 殿

年 月 日 (提出日)

論文執筆支援制度を利用したく申請致します。

| | |
|-----------|--|
| 申請者氏名 | |
| 申請者住所 | |
| E-mail | |
| 申請者の研究状況 | <p>該当する項目に<input checked="" type="checkbox"/>をお願いします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 執筆を考えている研究は研究倫理審査を <input type="checkbox"/>受けている <input type="checkbox"/>受けていない <input type="checkbox"/>受ける予定 ・ その研究には共同研究者は <input type="checkbox"/>いる； 人 <input type="checkbox"/>いない ・ 執筆を考えている研究は以前に学会へ演題登録したことが <input type="checkbox"/>ある <input type="checkbox"/>ない ・ これまでに学会での発表は <input type="checkbox"/>ある <input type="checkbox"/>ない ・ これまでに雑誌への投稿は <input type="checkbox"/>ある <input type="checkbox"/>ない ・ これまでに共同研究者になったことが <input type="checkbox"/>ある <input type="checkbox"/>ない |
| 論文執筆の支援内容 | <p>支援を受けたい項目に<input checked="" type="checkbox"/>をお願いします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 要旨の書き方 <input type="checkbox"/> 本文の書き方 <input type="checkbox"/> 研究背景の書き方 <input type="checkbox"/> 方法の書き方 <input type="checkbox"/> 結果の書き方 <input type="checkbox"/> 考察の書き方 <input type="checkbox"/> 文献の書き方 <p>* 次頁の研究概要の説明を添付してください。</p> |

下記のいずれかに申請書を送付してください。

【申請書郵送先①】

〒231-0011 神奈川県横浜市中区太田町4-45 第一国際ビル 301号室

神奈川県作業療法士会事務局「神奈川作業療法研究」編集委員会

【申請書送付先②】

E-mail : kana-otkenkyu@kana-ot.jp

研究概要：論文仮題

| |
|---------------------------------------|
| 1. 研究背景 |
| 2. 研究動機 |
| 3. 研究仮説 |
| 4. 研究目的 |
| 5. 研究方法 |
| 6. 結果（まだ解析等行っていない場合は、予測される結果） |
| 7. 結果もしくは予測される結果から考える本研究の社会的意義や臨床での価値 |

*今、考えていることや本研究への思い

| |
|--|
| |
|--|

提出日：(西暦) _____ 年 _____ 月 _____ 日

神奈川県作業療法研究 投稿および著作権譲渡承諾書

神奈川県作業療法研究
編集委員会 殿

下記論文を、「神奈川県作業療法研究」に投稿いたします。本論文は、これまでに他誌に掲載済み、掲載予定あるいは投稿中でないことを誓約いたします。また、本論文を投稿するにあたり下記の者が共同で執筆したものであり、共著者も投稿することに同意し、その内容に責任を持つことを承諾いたします。この論文が「神奈川県作業療法研究」に掲載された場合は、その著作権を一般社団法人神奈川県作業療法士会に譲渡することに同意します。

論文種別：1. 研究, 2. 症例報告, 3. 総説, 4. 短報, 5. 実践ノート

論文題名： _____

1. 筆頭著者氏名： _____ 会員番号 (_____) (_____ 年 _____ 月 _____ 日)

E-mail: _____

2. 共著者氏名： _____ 会員番号 (_____) (_____ 年 _____ 月 _____ 日)

E-mail: _____

3. 共著者氏名： _____ 会員番号 (_____) (_____ 年 _____ 月 _____ 日)

E-mail: _____

4. 共著者氏名： _____ 会員番号 (_____) (_____ 年 _____ 月 _____ 日)

E-mail: _____

5. 共著者氏名： _____ 会員番号 (_____) (_____ 年 _____ 月 _____ 日)

E-mail: _____

- * 全著者の氏名、E-mailアドレスを筆頭者、共著者の順に自筆でご記入ください。本人による署名のみ有効です。
- * 非会員である場合は、会員番号欄に職種名をご記入ください。
- * 譲渡していただく著作権とは、印刷、複写等により再生する複製権、FAX、インターネット等で内容を送信する公衆送信権、口述、講演等の口述権、翻訳権、二次的著作物の利用に関する権利等です。

投稿フローチャート



